

平成26年6月議会～平成26年9月議会
黒河内浩の市議会活動報告



**黒河内浩
後援会報**
 No.12
 発行所
 伊那市美薺上原4592-3
 TEL.74-8840
 発行責任者 橋爪英峯

…ごあいさつ…

4月の市議会議員選挙において通算4期目の当選を果たすことができました。これもひとえに大勢の支持者の皆さんのご支援の賜物であり、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

新しい伊那市の構築のためにも、議会の中心的存在として、また伊那市の「新・推進力」として将来の伊那市のあるべき姿、進むべき方向性をしっかりと見据えて市政を運営していくよう決意を新たにしています。

今議会では、総務委員会委員長として就任しました。これまで議会改革特別委員長として、市民から信頼される議会、開かれた議会を目指して、いくつかの改革を実施してまいりましたので、このことを生かしながら総務委員長としての職務を全うしていきます。

今後も市民のみなさまとともに考え、そして期待に応えて、議員としての職責を果たせるよう頑張っていきたいと思ひます。

ホームページをごらんください。 <http://www.kurogouchi.jp/>

※議会一般質問の様子が動画で見ることができます



委員会、会議でも積極的発言

伊那市議会『総務委員長』として、市政全般にわたる課題に積極的に取り組んでいます。

総務委員会は議会の中でも中心的存在です。

所管事項は幅広く、財政全般・防災消防等危機管理対策・教育(学校教育、生涯学習、スポーツ)全般・南アルプス振興対策が対象となっています。

これらの幅広い所管事項について市民の意向をしっかりと掌握し、総務委員長として議会内を取りまとめながら、将来を見据えた伊那市づくりに邁進したいと思ひます。

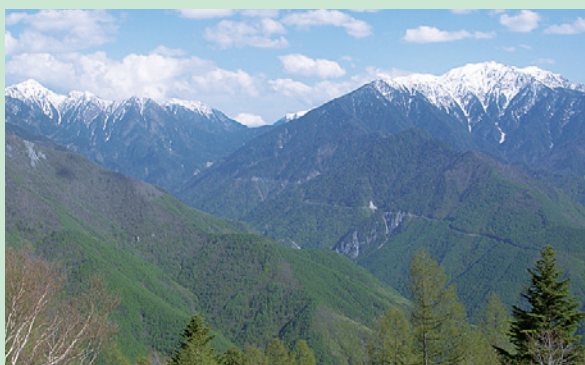


議場演台での発言

総務委員長としての主だった活動

**1. 南アルプスを伊那市発展の起爆剤に!!
日本ジオパーク南アルプス大会へ参加**

南アルプスは伊那市にとって大切な観光資源ですが、今年は「南アルプスの年」といってよいほど脚光を浴びた年でした。



鹿嶺高原から見た仙丈岳

国立公園指定50周年の節目の年。6月には「ユネスコエコパーク」認定。9月に第5回日本ジオパーク伊那大会が開催されました。

伊那市は南アルプスを起爆剤に、地域振興・山岳観光を図る政策を進めています。



ジオパーク伊那大会に委員長として参加

2. 土石流危険渓流の点検を実施

伊那市には急傾斜地崩壊危険個所が多数あり、土石流危険渓流も多く見られます。木曾や広島のような大規模災害が発生しないよう事前の点検、対策を常日頃から実施していくことが必要です。



委員長として危険個所パトロールを実施

3. 伊那公民館の建て替えがスタートしました

伊那市では3市町村合併後老朽化した公民館の建て替えを進めています。美築公民館、西箕輪公民館、伊那公民館の順で、次に手良公民館の予定です。全て財源は合併特例債です。その意味で合併による恩恵でもあります。



4. 東部中の大規模改修が完了 創立50周年記念事業を開催



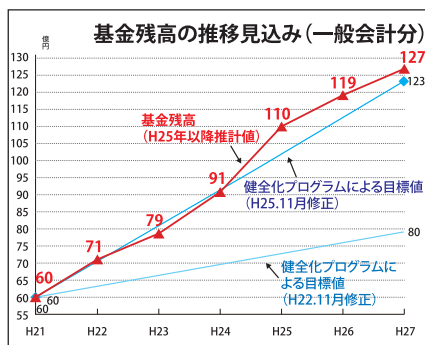
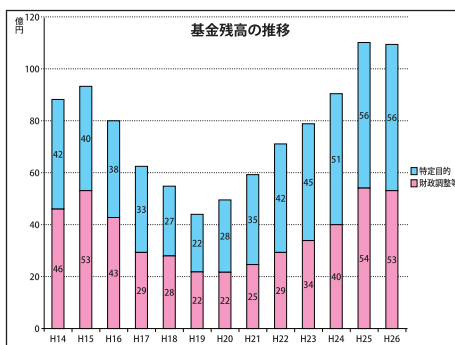
3年をかけた東部中の大規模改修が終了し、新校舎が完成しました。この事業については、総務委員長としては無論のこと、東部中の学校評議員として、また歴代のPTA会長の1人として積極的に関与支援してきました。今後も教育活動の支援を続けていきます。

平成26年一般質問の要旨

【平成26年6月議会】

1. 基金の運用について 基金の運用のあり方について質問

基金残高(一般会計に属する基金)
平成21年度 60億円 → 平成27年度 123億円 → 平成35年度 125億円
(当初目標 80億円)



*平成22年に計画した財政健全化プログラムと平成25年に上方修正した基金の計画

*平成19年を境にそれまで減り続けた基金がその後は増え続けています

質問 財政調整基金等20の基金があり、総額110億円になっている。今後の積立や取崩し等どのような運用をしていくのか。

市長 将来の安全財政を確保するために予算規模の10%以上(約30億円)の財政調整基金は確保していきたい。

質問 特定目的の基金を整理統合していく考えはないか。

市長 それぞれが開始した事情があり、簡単には統合できない。基金の目的終了を待って整理していく。

2. 発達障害早期発見支援事業について

質問 6月補正に発達障害早期発見支援事業として約730万円が計上された。取り組みを大いに評価したい。その具体的内容は。

教育長 発達障害支援アドバイザーを設けて支援体制を充実させ、組織的な支援を行って、その体制を市内全域に広げる。

3. マレットコースの環境整備促進について

質問 マレットのコース整備について市民から要望が出ている。その対応は。

教育次長 要望が出ているので体育施設設置補助金を活用し、整備を進めていくことになる。

【平成26年9月議会】

南アルプスをめぐる事業のうち「世界自然遺産登録推進」・「ユネスコエコパーク」・「ジオパーク」の3つの取り組みのあり方について質問。

質問 事業や活動内容が市民の理解を得られていない。ジオパークは内容が専門的すぎるし、世界遺産登録はハードルが高すぎる。多くの市民がついて来られない取組ではいけない。事業展開が図りやすいユネスコエコパークに焦点を絞って取り組むべきだ。

市長 最終的な目標は世界遺産登録だが、その手段としてジオパークやエコパークが存在する。日本ジオパーク南アルプス大会を契機に市民に周知を図る。

質問 南アルプス林道バスの山梨側との直通、相互乗り入れを実現すべく取り組むべきだ。

市長 過去に検討してきた経緯があるが、実現しなかった。環境省、陸運局との協議が必要であり、前向きに検討したい。



伊那谷議員連盟の会長として挨拶



保護司として表彰されました



政治の師匠である故宮下創平先生の葬儀にて(平成25年10月14日)

